

**GIGABYTE™**

# Aero 14

— USER'S MANUAL —

| 日本語 |

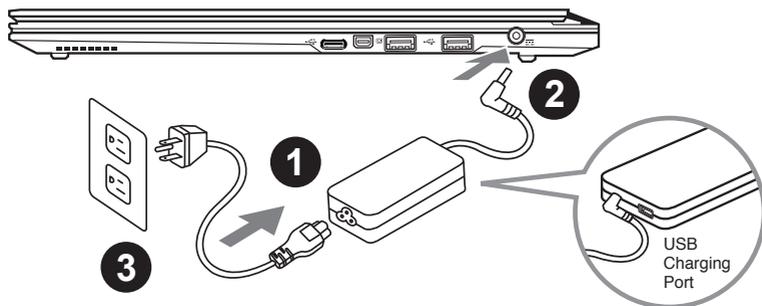


V1.1

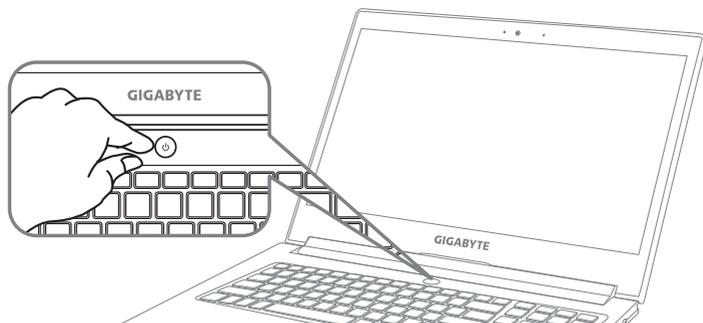
GIGABYTEのノートブックをご購入いただき、ありがとうございます。

最終的な製品構成は、ご購入の時点の物であり、モデルによって異なります。GIGABYTEが事前の予告なしに変更する権利を有します。詳しい情報は、[www.gigabyte.com](http://www.gigabyte.com)でご確認ください。

## GIGABYTEのノートブックを初めて使用するにあたって



- 1 ACアダプターにパワーコードをつなげてください。
- 2 ACアダプターをノート右側にあるDC-inに挿し込んでください。
- 3 電源ケーブルをコンセントにつないでください。



### 電源をONにします。

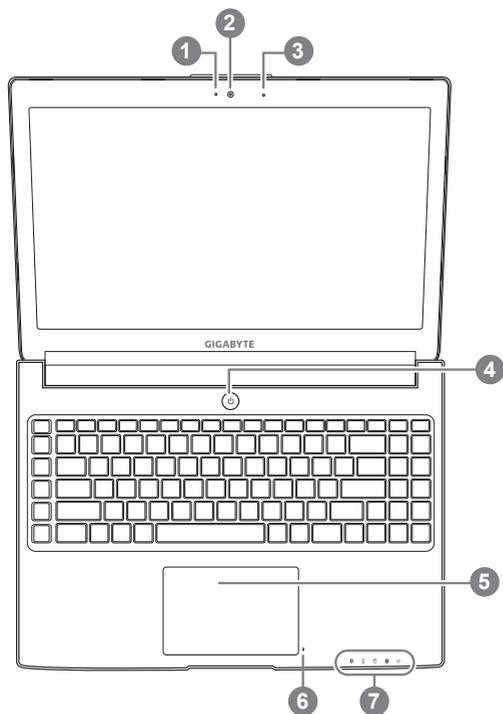
初めての電源を入れた後、OSの設定が完了するまでは電源を切らないでください。またWindowsのセットアップが完全に完了するまでは、音量調整を行うことができません。

### 初めてのノートブックコンピュータの起動

ご購入の製品構成によっては、起動後最初の画面がMicrosoft® Windows® Boot Screenの場合があります。画面に表示されるメッセージや指示に従って個人情報などを入力し、Windows® OSのセットアップを完了してください。

# GIGABYTE ノートブックの各部説明

## 上面図



1 ウェブカメラ状態表示LED

2 マイクウェブカメラ

3 マイクx1

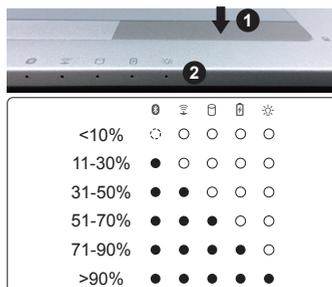
4 電源ボタン

5 タッチパッド

6 バッテリーインジケーターボタン[1]

7 LED インジケーター [2]

① バッテリー残量を確認するには、タッチパッドの右ボタンをおして下さい



② ③ Bluetoothの状態表示用LED

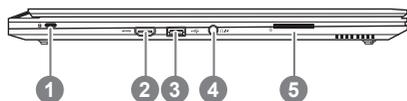
④ ワイヤレスLANの状態表示用LED

⑤ ハードディスクの状態表示用LED

⑥ バッテリーの状態表示用LED

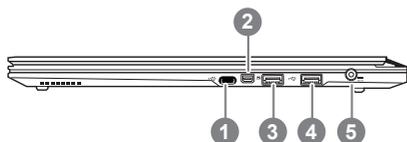
⑦ 電源の状態表示用LED

## 左側面図



- 1 ケンジントンロック
- 2 HDMIポート
- 3 USBポート3.0
- 4 Combo Audio Jack
- 5 SDカードリーダー

## 右側面図



- 1 USB 3.1
- 2 ミニディスプレイポート
- 3 USB 3.0  
(USBを充電すること、対応可能)
- 4 USB 3.0
- 5 ACアダプター差込口



### ご警告：

本機体内臓式のリチウムイオンは取り外せない部品で、取り外したい場合にはGIGABYTEの販売許可あるいは修理許可であるサービス・センターよりご処理頂きお願いいたします。

- ・ 斜面や揺れるやすい場所でノートパソコンを使用を抑えてください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障する恐れがあります。
- ・ リチウムイオン電池の寿命が老化するや爆発の恐れがございますので、車内や直接日光の当たる場所、45度C以上も至る室内場所で、ノートパソコンの使用や保管を抑えてください。
- ・ ノートパソコンのオーバーヒートの恐れがございますので、通風良好の場所でノートパソコンを使用してください。ベッド、枕など通風不良の場所での使用を抑えてください。床暖房の場所での使用を抑えてください。ノートパソコンのオーバーヒートを防ぐため、側面や底面の通気孔を塞がないでください。

# ホットキー

コンピューターは画面の明るさや音量出力のようなコントロールにアクセスする際、ホットキーまたはキーの組み合わせを採用しています。ホットキーを有効にするには、ホットキーの組み合わせで他のキーを押す前に<Fn>キーを押したままにしてから組み合わせのキーを押してください。

ホットキー	機能	説明
Fn+F1 	スリープス	スリープモードに入ります。
Fn+F2 	WLAN	ワイヤレスLANのON/OFFを切り替えます。
Fn+F3 	画面暗くなる画	画面が暗くなります。
Fn+F4 	画面明るくなる画	画面が明るくなります。
Fn+F5 	画面切替	ディスプレイの出力先を変更します。外部モニター（接続されていれば）または両方。
Fn+F6 	タッチパッド	タッチパッドのON/OFFを切り替えます。
Fn+F7 	スピーカー切替	スピーカーのON/OFFを切り替えます。
Fn+F8 	ボリューム下	ボリュームを下げます。
Fn+F9 	ボリューム上	ボリュームを上げます。
Fn+F10 	スクリーン画面切替	スクリーンディスプレイをオンとオフに切替えます。
Fn+F11 	Bluetooth	ブルートゥースのON/OFFを切り替えます。
Fn+F12 	Webカメラ	ウェブカメラのON/OFFを切り替えます。
Fn+Space 	キーボードバックライト	キーボードバックライトのON/OFFを切り替えます。

4

## マクロキー

使用者はマクロキーを使い、必殺技や特定のコマンド入力で複雑な連続操作あるいは一般操作のニーズを遂行できます

ホットキー	機能	説明
	マクロ・グループ切り替えキー	セッティングしたマクロ・グループへ切り替える機能で、押したままの3秒時間でマクロキーを閉閉できます
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング

# Macro Hub ご紹介

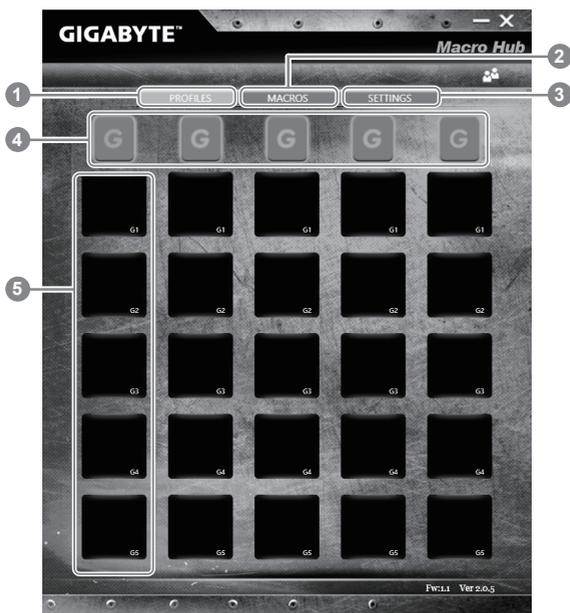
Macro Hubのご使用ありがとうございます。Macro Hubを使い、マクロキーを気楽にコントロールしましょう！！単一のキーで同時に複数のファンクションを操作することができます。仕事でもいいし、ゲームにも自分意思の通り遂行できます。Macro Hubを使用する前に、下記の使用説明をお読みください

## 1 Macro Hubをはじめます



デスクトップからMacro Hubの図面を探し、クリック2回してください

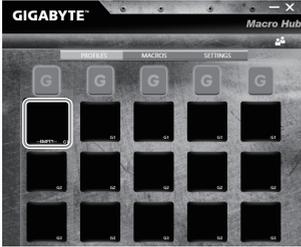
## 2 Macro Hubの概観



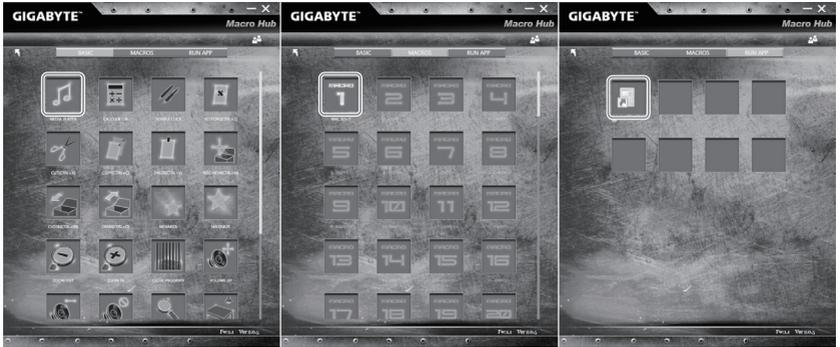
- 1 基本ファンクション：今までのセッティングを顯示します
- 2 マクロキーのセッティングを更新あるいはキャンセルします
- 3 他の設定：Macro Hubの設定を更新あるいは設定をセットし直します
- 4 マクロキー・グループ使用開始の指示ライト：マクロキー・グループを使用し始めることを顯示します（マクロキー・グループはオンの状態であれば点灯となります）
- 5 マクロキー・ファンクション:今使っているマクロキー・グループのマクロ・ファンクションを顯示します（全体には5つファンクションがあり、G1からG5まで）

### 3 Macro Hubの使用

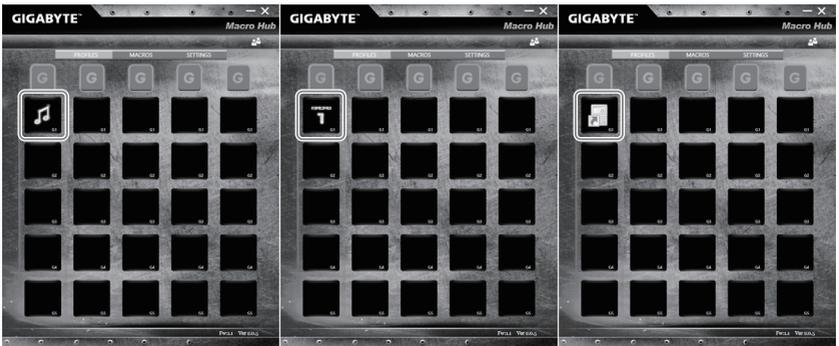
#### 1 マクロキー・ファンクションのセッティング



- a. キーボードの左上側のGキーで使いたいマクロキー・グループに切り替えます
- b. マクロキー・ファンクションのプリックをクリックしてください

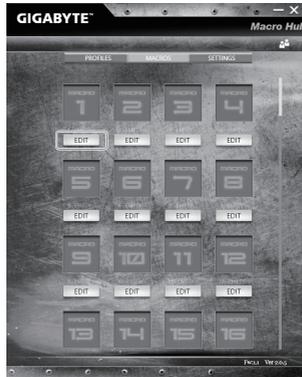


- c. どんなファンクションをつきたいのかを選んでください（例えば：ブラウザを開けること）、ダブル・クリックすることが必要です。これからシステムから保存してはいいという質問を顕示、Yesを押して、記録させます

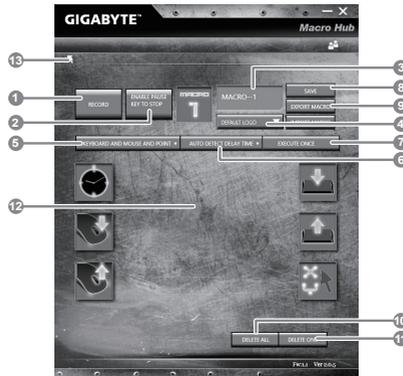


- d. セッティングを記録させます

## 2 マクロキー・ファンクションの設定と編成



- a. マクロ編集（Macros edit）をクリックしてください、最大限は100セットまで



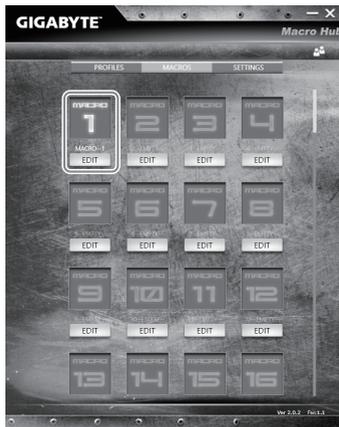
- b. マクロ編集の概観（自分ならではのマクロ設定を編集できます）

1. 記録開始：クリック後、マクロ設定を記録し始めます
2. 記録停止：マクロ設定に対する記録を停止
3. マクロ名称：マクロに対して、名付けます
4. 図面ファイル挿入：マクロに図像をつけるということです。内部のシステムでつけてもいいし、外部からアップロードあるいは挿入しても使えます
5. 記録範囲：単なるキーボードあるいはマウスの動きを記録しますか、同時に記録しますかを選択できます。
6. 間隔時間：各動きの間隔時間を記録しますか、あるいはある動き、動作の間隔時間をきろくしますかということをシステムでセッティングできます。
7. 執行方式：執行方式を選択・設定できます（一回だけの執行、繰り返す執行など...）
8. 輸出マクロ：記録したマクロを保存そして輸出
9. 入力マクロ：前に記録したマクロあるいは他人のマクロを入力
10. 削除全部：マクロにおけるあらゆる動きを削除します

11. 削除選択：マクロにおけるある特定の動きを削除します（選択次第）
12. 動きのリスト：記録した動きを顯示します
13. Exit：記録したマクロを保存しますかをお聞きにします

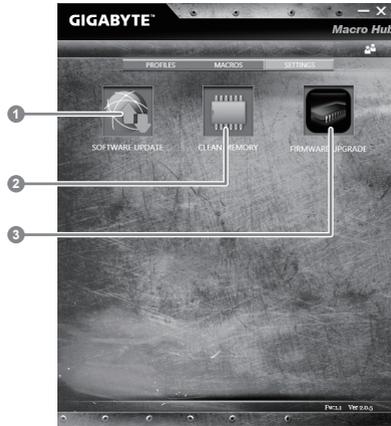


- c. マクロの記録を開始：スタートのボタンをクリック、マクロ編成の記録をし始めます。あらゆる動きは動きリストにあらわされました。貴方は記録範囲で、「pause」ボタンあるいはマウスを使い、記録の停止を決めます。記録完成：あらゆる動きを入力後、「保存」をクリック、記録させて、編成を完成させます。



- d. マクロ・ファンクション編成を完成させます

### 3 マクロ・ハブの編成とセッティング



- 1.ソフト・ウェアの更新：GIGABYTE マクロ・ハブを更新します
- 2.セッティングのキャンセル：保存したセッティングをキャンセルします
- 3.ファームウェア更新：マクロのファームウェアを更新します

# GIGABYTE のソフトウェアアプリケーション

## GIGABYTE Smart Manager

OS付のシステムをご購入いただいた場合はGIGABYTEのSmart Managerをデスクトップ上のアイコンをダブルクリックすることで起動することができます。GIGABYTE Smart Managerはアイコンで操作できるインターフェースで、共通システムセットアップをGIGABYTE独自のユーティリティと同じように直感的操作することが可能です。GIGABYTE Smart Managerのアイコン、ユーティリティやソフトのバージョンは購入されたモデルによって異なる場合があります。実際に付属しているバージョンのGIGABYTE Smart Manager で動作させてください。

# Smart USB Backup の使用ガイド

## ⚠ 注意

- この作業を行うことによって、パソコンが損傷を負ったことが原因で image データの紛失を防ぐために、この作業によって事前にバックアップをとっておきます。
- 新しいストレージデバイスを交換する場合は、USB フラッシュドライブに元のイメージのバックアップを復元するには、このソフトウェアを使用することができ、新しいストレージデバイスをインストールしてから、工場出荷時のデフォルトのシステム新しいストレージデバイスに戻っていても。
- リカバリー USB を使用してシステムの復元を行う前に、データのバックアップがされていることを確認してください。
- リカバリー USB を使用して、システムの復元を行っている最中は、シャットダウンをしたり、電源コードを抜いたりしないでください。

1



- 20GB 以上の USB メモリを用意して、パソコンに挿入してください。(USB 内のデータは、リカバリー USB の作成によって全て削除されますので、先に USB 内のデータのバックアップをとってください。)

2



- オプティカルドライブにドライバーディスクを挿入し、「Smart USB Backup」をインストールします。(CD/DVD ドライブのない機種の場合は、外付けドライブを使用してください。ソフトウェアがない場合は、<http://www.gigabyte.com> からダウンロードしてください。)

3



- インストール完了後、デスクトップ上の「Smart USB Backup」を起動させてください。

4



- ドロップダウンリストの中から先ほど挿入した USB メモリを選択し、recovery USB の作成を開始してください。

5

- リカバリー USB の作成が終了すると、ポップアップ画面が現れます。
- システムの復元を行うには、コンピュータを起動した際 F12 キーを押してください。「USB メモリを使用して復元する」を選択すると、システムの復元が始まります。
- システムの復元には、約 30 分ほどの時間が必要です。(所要時間は USB メモリの種類によって異なります。)

# リカバリーガイド

## システムリカバリ（オペレーティングシステムの修復）

オペレーティングシステムに何らかの異常が発生した場合、システムの完全バックアップイメージが構成されているストレージ装置内リカバリ領域を使い、オペレーティングシステムを工場出荷時の初期状態に復元します。



### 注意

- ストレージ装置を交換、もしくはリカバリ領域を削除した場合、リカバリオプションを使用することはできなくなります。カスタマーサービスセンターでの修理が必要です。
- リカバリ機能は OS がプレインストールされた製品に限り有効です。DOS 製品については、リカバリ機能はサポートされておりません。

## システムリカバリーの起動

リカバリ機能は、工場出荷時にプレインストールされています。オプションメニューより Windows リカバリツールを起動させ、オペレーティングシステムを再インストールし初期化してください。

以下、リカバリツール起動方法とシステム復元方法の説明です。



### リカバリ実行前の注意

PC がコンセントに繋がっている事を確認してください。作業完了には数分要します。

## Windows 7 リカバリガイド

1

シャットダウン後、PC を再度起動させてください。

2



起動後、F9 キーを数秒間押ししてリカバリツールを起動させます。

3



リカバリモードに進むと、ツールメニュー内にリカバリオプションが現れます。確認後、“Recovery” をクリックするとリカバリが開始します。



### 注意

リカバリを選択すると、全ての個人データやファイルが削除されます。オペレーティングシステム及びドライブは出荷時の初期状態に復元されます。

4



プログレスバーが現れ、リカバリが始まります。この時、ACアダプターがコンセントにしっかり繋がれていることをご確認ください。作業完了まで電源を切らないでください。

5



システムリカバリ完了後、PCを再起動させてください。

## Windows 10 リカバリガイド

1

ラップトップを再起動します。

2



ラップトップの再起動中に、F9 キーを長押しし、ツールを起動します。

3



「トラブルシューティング」を選択し、復旧設定に入ります。  
(あるいは、「続行」を選択して復旧システムを終了し、Windows 10 のファイルまたはデータバックアップを続行します。)



システム復旧には2つの選択肢があります

- このPCをリセットする  
ファイルを失うことなく、ファイルを維持または削除してから Windows を再インストールできます。
- GIGABYTE Smart Recovery  
PC 設定が工場出荷時の設定に復元されます。  
注意：個人のデータとファイルはすべて失われます。



## ■ 「このPCをリセットする」を選択します

### ▶ ファイルを維持する

アカウントを選択し、続行します。すべてのアプリが削除され、設定がO/S (GIGABYTE アプリなし) のみに戻りますが、個人のファイルは維持されます。

### ▶ すべて削除する

アプリ、設定、個人ファイルがすべて削除されます。

### ⇒ 個人ファイルだけを削除する

個人のデータとファイルのみが削除され、コンピューター設定は維持されます。

### ⇒ ドライブを完全に消去する

ドライブが工場出荷時の設定に完全に復元されます。これには時間がかかります。> [復旧機能を実行するには「リセット」をクリックします。]



### 注意事項

- 個人のファイルとアプリがすべて削除されます。
- PC設定がO/S (GIGABYTE アプリなし) のみに復元されます。



## ■ GIGABYTE Smart Recovery



復旧が有効化され、ウィンドウにオプションボタンが表示されます。開始するには「はい」をクリックします。



### 注意事項

- 「復旧」が選択されると、ラップトップの復旧開始後に個人のデータとファイルが削除されます。オペレーティングシステムは工場出荷時の設定にリセットされます。
- 復旧プロセスの実行時に進捗状態を示すバーがウィンドウに表示されます。ACアダプターが差し込まれていることを確認し、ラップトップの電源を切らないでください。



システム復旧が完了すると、ウィンドウにオプションボタンが表示されます。「シャットダウン」をクリックしてください。



## ■ 詳細オプション



### システム復旧

PCに記録されている復旧ポイントを利用し、Windowsを復旧します。



### システムイメージ復旧

特定のシステムイメージファイルを利用してWindowsを復旧します。



### 起動修復

Windowsの読み込みを妨げる問題を修正します。



### コマンドプロンプト

コマンドプロンプトを利用して詳細なトラブルシューティングを行います。



### UEFI ファームウェア設定

PCのUEFIファームウェアの設定を変更します。



### 起動設定

Windowsの起動動作を変更します。

## 追記

### ■ 保証及びサービス：

保証とサービスについては下記の Website よりご確認ください。

link:<http://www.gigabyte.com/support-downloads/technical-support.aspx>

### ■ FAQ：

何かご質問ありましたら、下記のサイトよりご確認ください。

<http://www.gigabyte.com/support-downloads/faq.aspx>